

# 市内遺跡調査報告書

第 9 集

2014

茨城県石岡市教育委員会

石岡市埋蔵文化財調査報告書

# 市内遺跡調査報告書

第 9 集

2014

茨城県石岡市教育委員会



## 例　　言

1. 本書は平成24年度に石岡市が行った試掘調査、平成21年度に個人住宅建設に伴い発掘調査を行った十三稻荷山塚群、平成22年度に市道A4166号線改良工事に伴い発掘調査を行った中坪遺跡に関する報告書である。また、石岡市出土遺物についての論考・資料紹介も収録した。
2. 調査は石岡市教育委員会が主体となって実施した。
3. 現地調査は小杉山大輔・谷伸俊雄が担当した。また、調査・整理の参加者は、下記の通りである。

五十嵐　正　市毛　博　岡田正夫　岡本脩一　小松崎利夫　松本　廣　山口晋一　吉田幸男  
石崎清子　石崎亘子　小山信子　木間塙千代子　鈴木真紀子　吉野文子　長谷川則子　木村友子  
なお、遺構・遺物の実測・トレスは小杉山・谷伸・長谷川・木村が、採掘は小杉山・谷伸・石崎（清）・石崎（亘）・小山・木間塙・鈴木・吉野が行った。
4. 本書の執筆は、I～III（II-27・33・34を除く）、IVを谷伸、II-27・33・34を小杉山が行った。Vについては齋田恵一氏、VIについては高橋透氏より玉稿をいただいた。編集は谷伸が行った。
5. 調査に関する遺物・図面・写真等の資料はすべて石岡市教育委員会で保管している。
6. 現地調査及び報告書刊行に当たっては下記の方々からご指導・ご協力をいただいた。ここに記して、感謝申し上げる次第である。（敬称略・五十音順）

三井　猛　茨城県教育庁文化課　有限会社三井考査  
7. 事務局は下記の通りである。

櫻井　信（教育長）、鈴木信充（教育部長）、大関敏文（次長）、櫻井俊光（生涯学習課長）、鈴木正人・  
箕輪健一（生涯学習課課長補佐）、安藤敏孝・木植　繁・小河原　修・鬼澤将隆・小杉山大輔（生涯学習課係長）、  
加藤幸恵・渡辺幸恵・萩原幸子・谷伸俊雄・金澤史典・長島万梨咲（課員）

## 凡　　例

1. 本書使用の方位は磁北である。ただし、都市計画図を利用した調査地点位置図については座標北である。
2. 本書に掲載した遺物実測図の縮尺は、平瓦・丸瓦が1／6、土器・軒丸瓦・軒平瓦が1／3、鉄製品が1／2、  
石器が1／3（剥片は4／5）を基本とした。  
なお、それ以外の縮尺の場合はその都度、実測図に縮尺を明記した。

# 目 次

例 言		32	鹿の子遺跡（第43次）	20
凡 例		33	根古屋遺跡（第4次）	21
目 次		34	東大橋原遺跡	25
I 調査の概要		35	東ノ辻遺跡	28
1 調査の概要	1	36	杉ノ井遺跡（第3地点）	28
2 試掘調査の方法	1	37	杉ノ井遺跡（第4地点）	28
II 試掘調査（平成24年度）		38	国分遺跡	28
1 山崎塙海道遺跡・北田向遺跡	4	39	茨城廃寺跡（試掘2次）	28
2 国分遺跡	4	40	東大橋原遺跡	30
3 真家（未周知）	4	41	鹿の子遺跡（第44次）	30
4 行里川台遺跡	5	42	弥陀ノ台遺跡	30
5 柿岡（未周知）	5	43	杉ノ井遺跡（第5地点）	30
6 柿岡小坊内遺跡（新発見）	5	44	鹿の子遺跡（第45次）	31
7 小目代遺跡（第6地点-1）	7	45	田崎遺跡	32
8 大塚遺跡	7	46	東大橋（未周知）	32
9 木間塙遺跡（第13地点）	7	47	東成井（未周知）	33
10 鹿の子遺跡（第40次）	8			
11 宮部遺跡（第6地点）	9			
12 大増（未周知）	10			
13 サカイツカ遺跡	10			
14 半田（未周知）	10			
15 国分遺跡	10			
16 中津川遺跡	12			
17 杉ノ井遺跡（第2地点）	13			
18 鹿の子遺跡（第41次）	13			
19 府中城跡（第2地点-2）	14			
20 上曾（未周知）	14			
21 六軒遺跡	14			
22 東ノ辻遺跡	14			
23 大塚遺跡	14			
24 茨城（未周知）	15			
25 町塙遺跡	15			
26 瓦谷（未周知）	15			
27 尼寺ヶ原遺跡	16			
28 尼寺ヶ原遺跡	19			
29 鹿の子遺跡（第42次）	19			
30 宮部遺跡（第7地点）	20			
31 尼寺ヶ原遺跡	20			

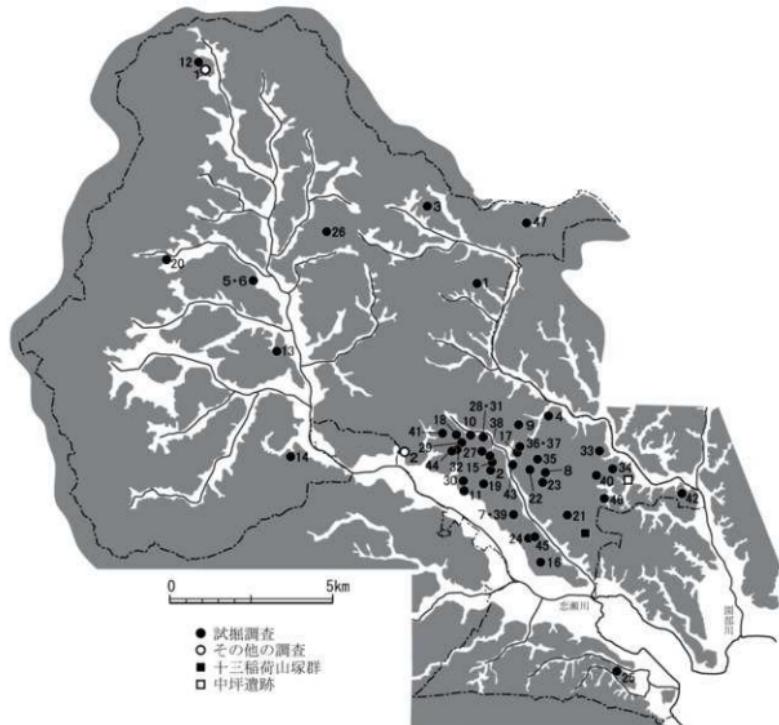
# I 調査の概要

## 1 調査の概要

試掘調査は基本的には遺跡の範囲内を行うが、範囲外であっても現地踏査の結果、地形等から遺跡の存在する可能性があると判断した場合、または、開発面積が広大である場合には範囲外であっても試掘調査を行った。また、現地踏査を行った結果、アスファルトなどで覆われていて遺跡の現状が把握しきれなかったものに対しては、試掘調査を必ずしも行わず、工事立会いを行ったものもある。

## 2 試掘調査の方法

試掘調査は開発予定地内に数mの大きさのトレンチを設定し、重機（バックホー）及び人力により、地山上面まで掘り下げ、遺構の有無を確認した。遺構か否か判断が困難な場合は、サブトレンチを設定するなど一部精査を行い、遺構の確認をおこなった。また、遺跡の時期や性格を判断するため、遺構であっても、あえてサブトレンチを設定し、掘り下げた場合もある。遺物は表面採集、トレンチ覆土中出土、遺構出土にわけて取り上げた。



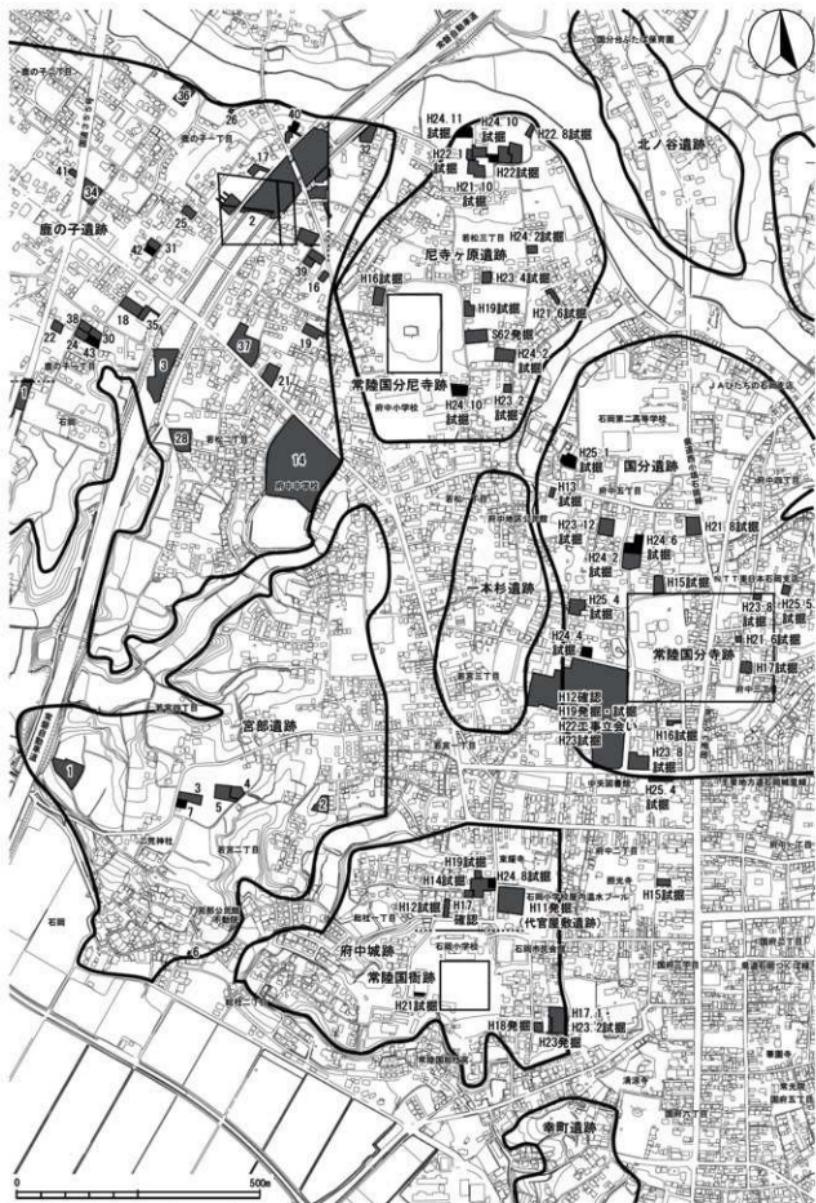


図2 常陸国衙跡・常陸国分寺跡・常陸国分尼寺跡ほか調査地点位置図 (S=1/10,000)

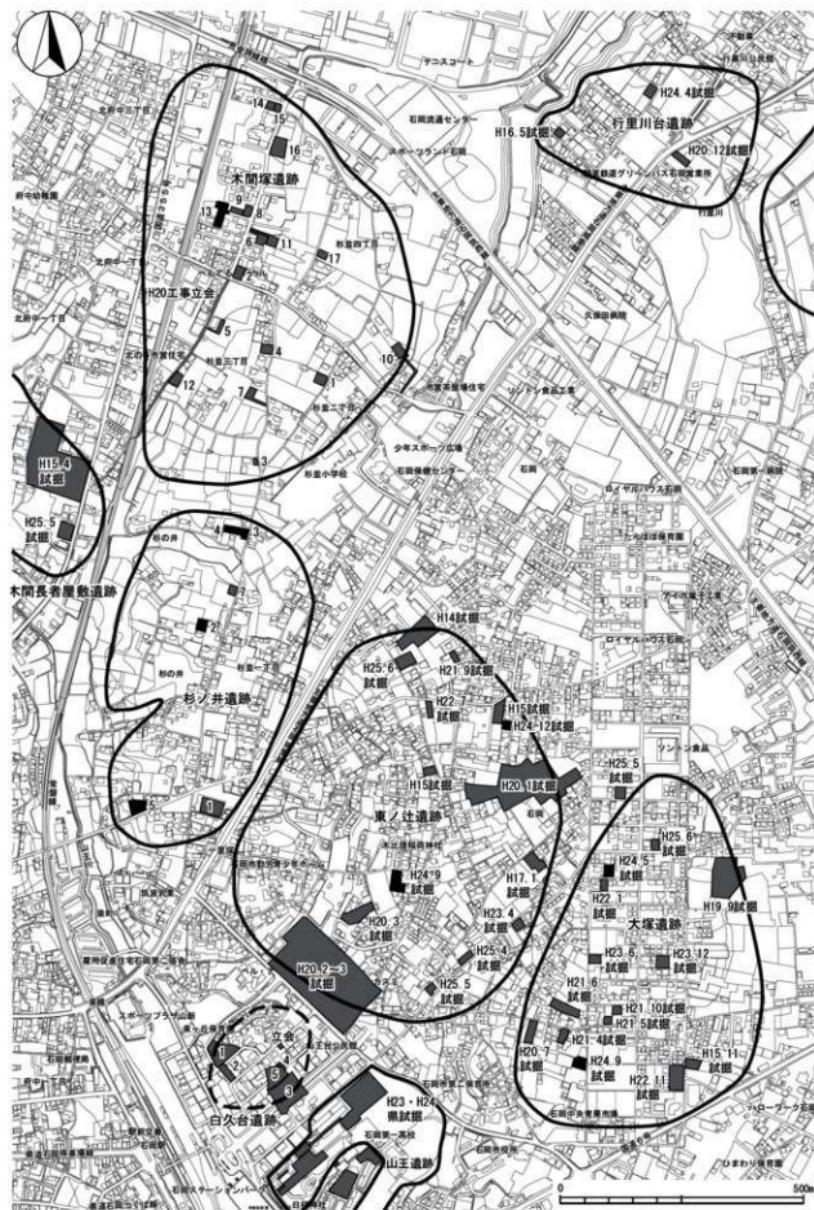


図3 木間塚遺跡・東ノ辻遺跡・大塚遺跡ほか調査地点位置図 (S=1/10,000)

## II 試掘調査（平成24年度）

### 1 山崎塩海道遺跡（新発見）・北田向遺跡

①所在地 石岡市山崎2925-2、2282-1ほか ②開発面積 28,440m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年4月13日、6月13日、10月17日～11月9日 ④調査原因 市道新設（美野里・八郷線） ⑤調査担当者 小杉山大輔 ⑥調査概要 開発区域内外に試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認した。調査の結果、中世の城館跡（山崎塩海道遺跡）と繩文時代の集落跡（北田向遺跡）を確認した。山崎塩海道遺跡は平成25年度に発掘調査を実施し、「山崎塩海道遺跡一市道B6706号線（美野里・八郷線）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査」（2014年）を刊行している。また、時期不明の溝跡を確認した地点の工事立会いを平成25年3月21日～22日に実施したが、その成果も同書に掲載している。北田向遺跡については平成26年度に発掘調査を実施予定である。

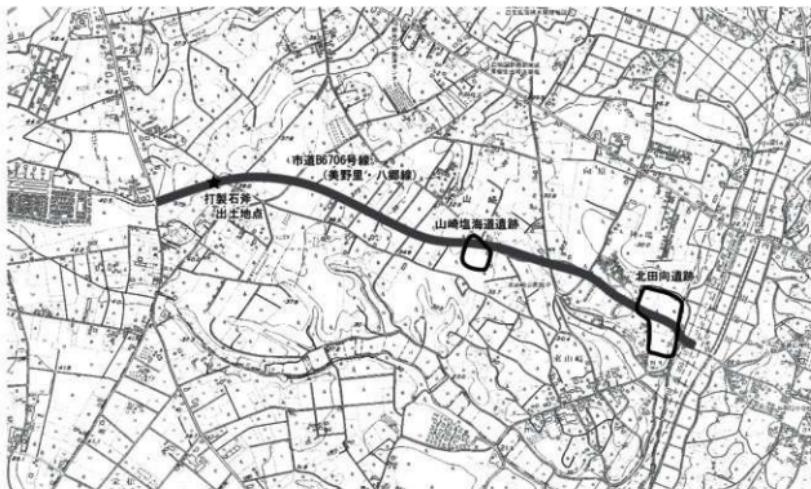


図4 山崎塩海道遺跡・北田向遺跡 調査地点位置図 (S=1/20,000)

### 2 国分遺跡

①所在地 石岡市府中5丁目7903-1 ②開発面積 475m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年4月16日 ④調査原因 集合住宅建設 ⑤調査担当者 谷仲俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に3ヶ所の試掘トレンチを重機にて設定し、遺跡の有無を確認したが、遺構・遺物は確認されなかった。地山確認面までの深さは75～100cm程度。 ⑦遺物 試掘トレンチ表土中よりガラス瓶が出土している（写真1）。



### 3 真家（未周知）

①所在地 石岡市真家字堂ノ上533-2 ②開発面積 554m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年4月18日 ④調査原因 個人住宅建設 ⑤調査担当者 小杉山大輔 ⑥調査概要 周知の遺跡の範囲外であるが、現地踏査の結果、土器が表面採集されたため試掘調査を行った。開発区域内に7ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認

写真1 国分遺跡 出土遺物

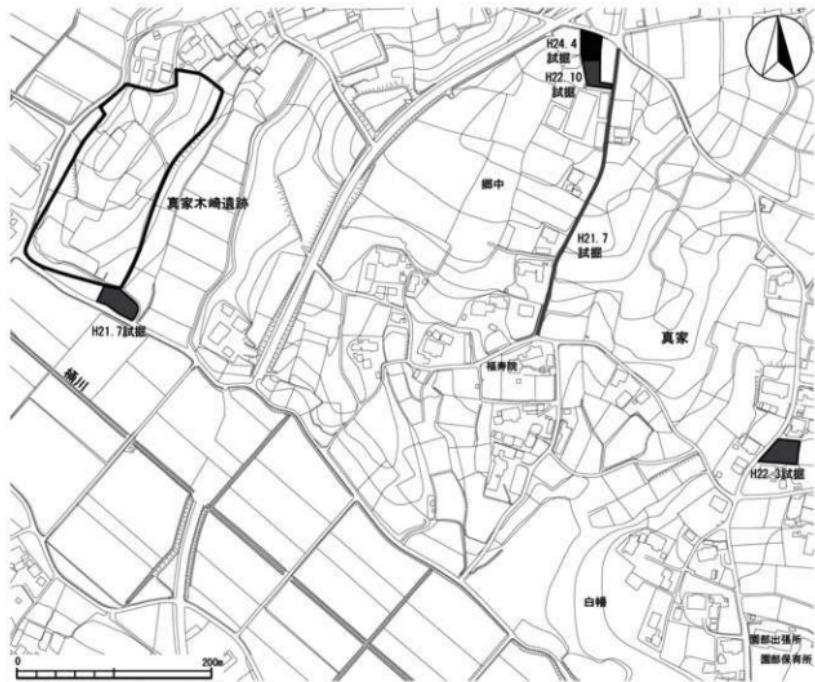


図5 真家 調査地点位置図 (S=1/5,000)

したが、遺構・遺物は確認されなかった。

#### 4 行里川台遺跡

①所在地 石岡市行里川13201番28の一部 ②開発面積 500m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年4月19日 ④調査原因  
個人住宅建設 ⑤調査担当者 谷仲俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に10ヶ所の試掘トレチを人力にて設定し、  
遺跡の有無を確認したが、遺構・遺物は確認されなかった。地山確認面までの深さは20～50cm程度。

#### 5 柿岡（未周知）

①所在地 石岡市柿岡3543-1ほか ②開発面積 4.831m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年5月8日、7月10日～11日 ④  
調査原因 中学校建設 ⑤調査担当者 谷仲俊雄 ⑥調査概要 周知の遺跡の範囲外だが、湮滅した柿岡中学校  
内遺跡の隣接地にあたることから試掘調査を行った。開発区域のうち、グラウンド予定地に10ヶ所の試掘トレ  
チを重機にて、また進入路予定地に15ヶ所の試掘トレチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認した。その  
結果、遺構・遺物は確認されなかった。一部の試掘トレチでは、ローム層の掘り下げを鹿沼バミスが確認され  
るまで行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

#### 6 柿岡小坊内遺跡（新発見）

①所在地 石岡市柿岡3124-1ほか ②開発面積 33.945m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年5月8日、6月18日～19日、

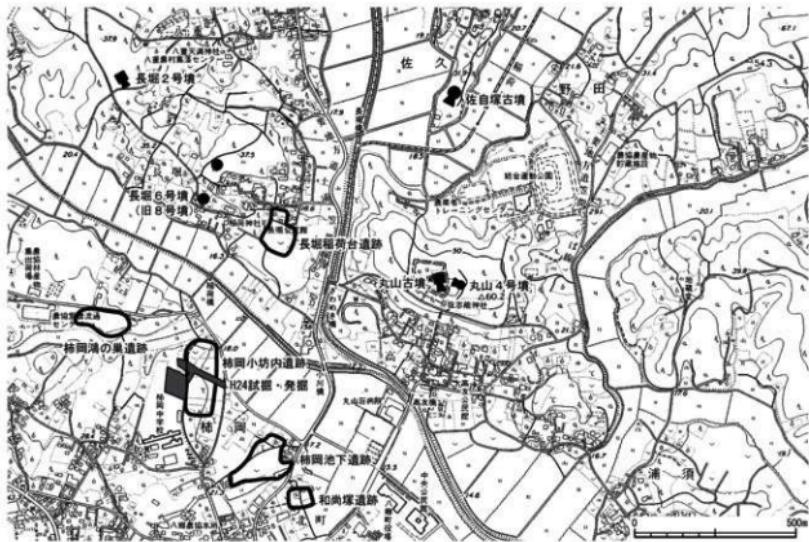


図6 柿岡小坊内遺跡 調査地点位置図 (S=1/15,000)

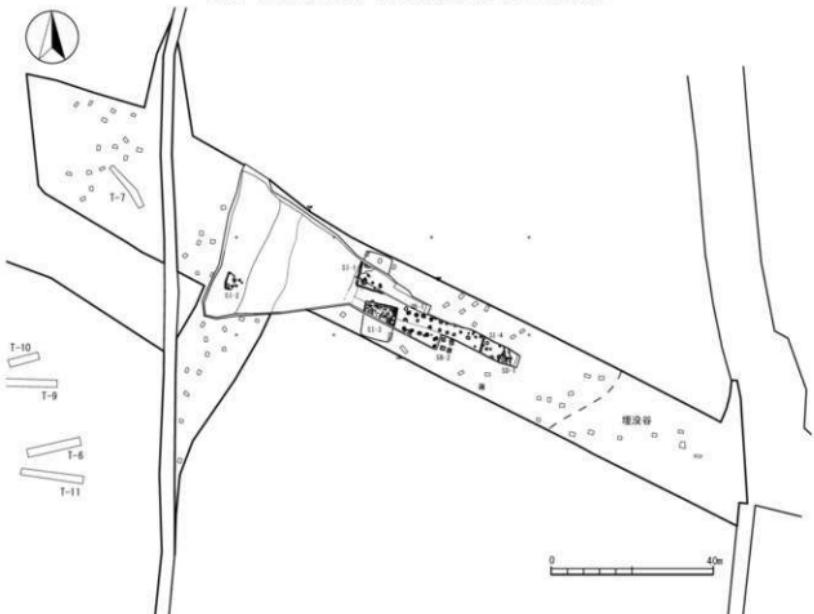


図7 柿岡小坊内遺跡 全体図 (S=1/1,000)

7月4日～6日 ④調査原因 市道新設（上林・上曾線） ⑤調査担当者 谷仲俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に72ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、古墳時代、奈良・平安時代の堅穴住居跡や土坑、ピットを確認した。この結果を受け、「柿岡小坊内遺跡」として平成24年7月12日付で「遺跡発見の通知」を提出した。この開発に伴い、平成24年度に発掘調査を実施しており、詳細は発掘調査報告書に譲る。

## 7 小目代遺跡（第6地点－1）

①所在地 石岡市貝地2丁目1980番地 ②開発面積 863m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年5月10日～11日 ④調査原因 個人住宅建設 ⑤調査担当者 谷仲俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に12ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、土坑12基、ピット7口を確認した。また、奈良・平安時代の土器や瓦、中世の土器が出土している。この開発に伴い、平成24年6月（第6地点－2）、平成25年1月（第6地点－3）に発掘調査を実施しており、詳細は発掘調査報告書に譲る。

## 8 大塚遺跡

①所在地 石岡市石岡字東ノ辻13967番7 ②開発面積 521m<sup>2</sup>  
③調査日 平成24年5月14日 ④調査原因 個人住宅建設  
⑤調査担当者 谷仲俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に6ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認したが、遺構・遺物は確認されなかった。



写真2 木間塚遺跡 全景 (北から)

## 9 木間塚遺跡（第13地点）

①所在地 石岡市杉並4丁目12215番4の一部 ②開発面積 965m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年5月17日 ④調査原因 宅地造成

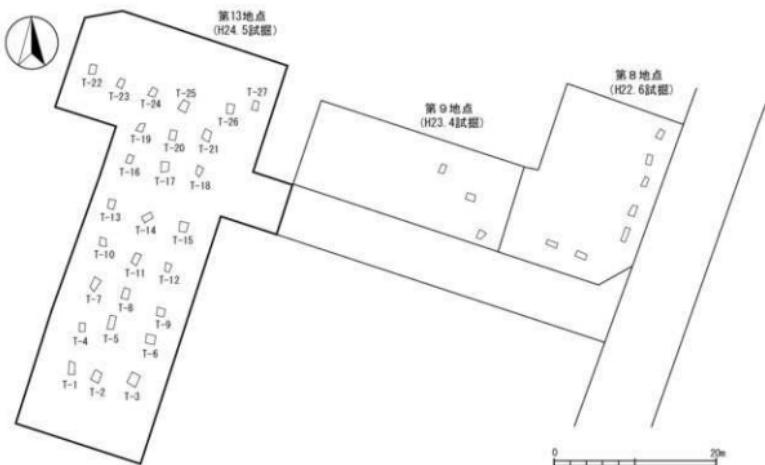


図8 木間塚遺跡 全体図 (S=1/500)

⑤調査担当者 谷伸俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に27ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、遺構は確認されなかった。ローム面までの深さは30~40cm程度。 ⑦遺物 土師質土器の皿や古代と考えられる瓦が採集・出土している。今回の調査地点の東側にあたる第9地点でも土師質土器が採集されている（小杉山・曾根2013）。1~3は土師質土器の皿。1は淡褐色。白雲母・白色粒・黒色粒少量、黄褐色粒微量含む。2は淡褐色。黒色粒少量、白雲母・白色粒、黄褐色粒微量含む。3は橙褐色。白色粒・黒色粒少量、白雲母・黄褐色粒微量含む。4は丸瓦。灰色。白色粒多量。黄褐色粒・砂粒少量、半透明粒微量含む。1はT-6出土、2~4は表面採集。

<引用文献>小杉山大輔・曾根俊雄2013「市内遺跡調査報告書 第8集」石岡市教育委員会

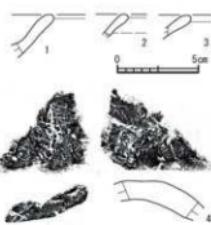


図9 木間塚遺跡  
出土遺物 (S=1/3)

## 10 鹿の子遺跡（第40次）

①所在地 石岡市鹿の子1丁目8991番2、8992番1 ②開発面積 742m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年5月29日 ④調査原因 個人住宅建設 ⑤調査担当者 谷伸俊雄 ⑥調査概要 鹿の子遺跡の範囲内にあたり、開発地の一部お

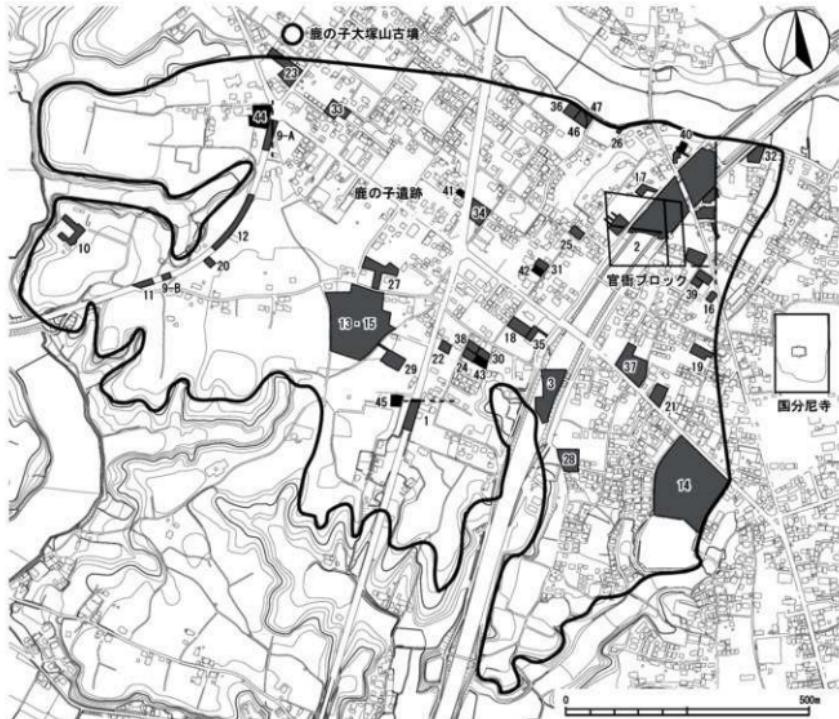


図10 鹿の子遺跡 調査地点位置図 (S=1/10,000)

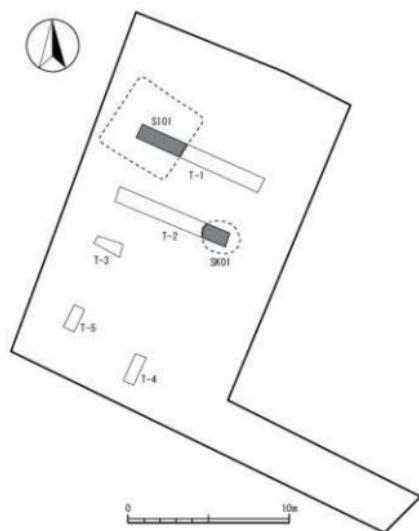


図 11 鹿の子遺跡（第 40 次）全体図 (S=1/300)

より周辺は昭和61年に発掘調査が実施されている（鹿の子第8次、川崎ほか1987）。奈良・平安時代の住居跡や工房跡などが確認された、いわゆる鹿の子C遺跡の「居住・工房ブロック」にあたる。今回は個人住宅建設に伴い、遺跡の広がりや遺跡の存在する面までの深さを確認するため、試掘調査を行った。開発区域内に5ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定した掘り下げた結果、竪穴住居跡1軒(SI01)、土坑1基(SK01)を確認した。ローム面までの深さは30～45cm程度。

⑦遺物 T-1より須恵器の高台付坏や羽口、鉄滓（写真3）、縄文土器が出土している。1は須恵器の高台付坏。灰～オリーブ灰色。白色粒多量、白雲母、透明粒少量。新治産。25%残存。T-1出土。2は羽口。淡褐色～橙褐色。外面に融解した鉄付着。T-1出土。3は纖維を含む縄文時代前期の土器。外面橙褐色、内面淡褐色。黄褐色粒、角閃石、透明粒少量、針状物微量含む。T-1出土。

<引用文献>川崎純徳ほか1987『鹿の子遺跡発掘調査報告書（第3次）』石岡市教育委員会

### 11 宮部遺跡（第6地点）

①所在地 石岡市若宮2丁目57番地1 ②開発面積 35m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年6月12日 ④調査原因 防火水槽設置 ⑤調査担当者 谷伸俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に1ヶ所の試掘トレンチを重機にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、埋没谷が確認されたが、遺構・遺物は確認されなかった。また、埋没谷の掘り下げを行ったところ、表土下1.3mで砂層を確認したが、湧水が認められた。谷覆土中からも遺物の出土はない。

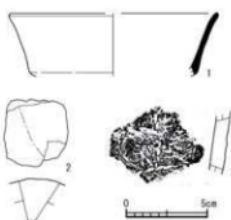


図 12 出土遺物 (S=1/3)



写真3 出土遺物



写真4 T-1（西から）

## 12 大増（未周知）

①所在地 石岡市大増1800ほか ②開発面積 960m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年6月18日～19日 ④調査原因 市道改良 ⑤調査担当者 小杉山大輔 ⑥調査概要 開発区域内に30ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、少量の遺物が出土したもの、遺構は確認されなかった。

## 13 サカイツカ遺跡（範囲変更）

①所在地 石岡市片野290、金指583ほか ②開発面積 3,000m<sup>2</sup>  
③調査日 平成24年6月21日～26日、7月12～13日 ④調査原因 市道改良  
⑤調査担当者 谷仲俊雄・小杉山大輔 ⑥調査概要 開発地の一部はサカイツカ遺跡の範囲内にあたることから試掘調査を行った。開発区域内に77ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、弥生時代の竪穴住居跡(SI02)、古墳時代の竪穴住居跡などを確認した。この結果を受け、サカイツカ遺跡の範囲を拡大した。この開発に伴い、平成24年度に発掘調査を実施しており、詳細は発掘調査報告書に譲る。



写真5 サカイツカ遺跡 SI02 (西から)

## 14 半田（未周知）

①所在地 石岡市半田970番地 ②開発面積 35m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年6月22日 ④調査原因 防火水槽設置  
⑤調査担当者 谷仲俊雄 ⑥調査概要 周知の遺跡の範囲外だが、土器が採集され、遺跡の存在する可能性が考えられたため、試掘調査を行った。開発区域内に1ヶ所の試掘トレンチを重機にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、表土下1.1mでローム層を確認したが、遺構・遺物は確認されなかった。

## 15 国分遺跡

①所在地 石岡市府中5丁目8263-4 ②開発面積 961m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年6月29日 ④調査原因 宅地造

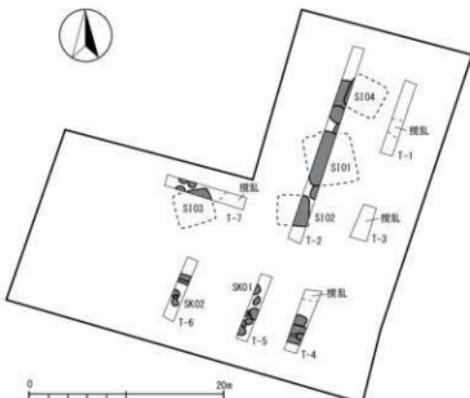


図13 国分遺跡 全体図 (S=1/500)

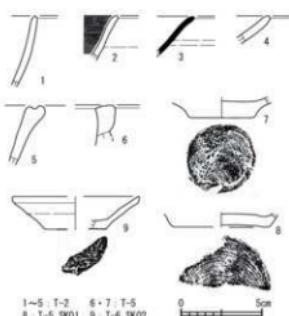


図14 出土遺物 (S=1/3)

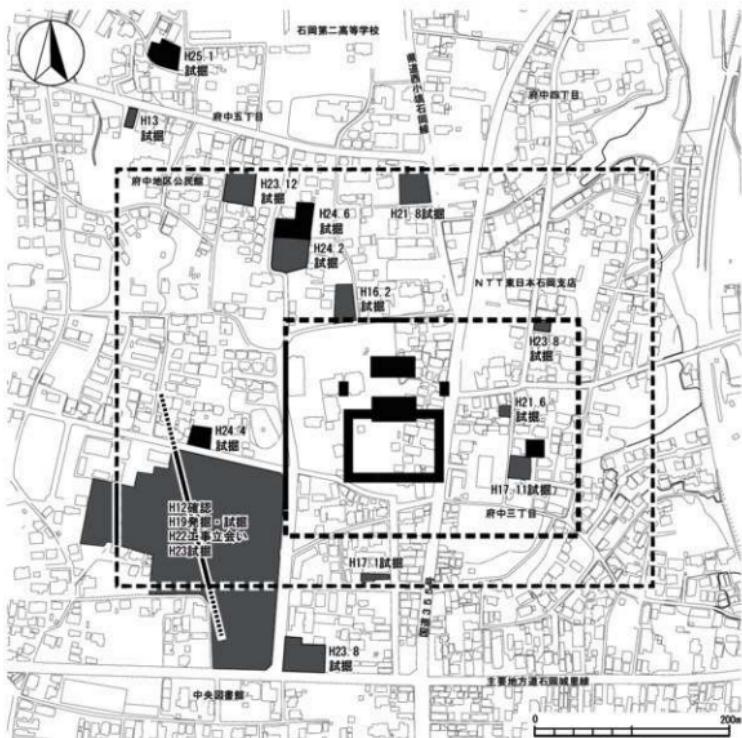


図 15 常陸国分寺跡・国分遺跡 調査地点位置図 (S=1/5,000)



写真 6 T-2 (北から)



写真 7 T-6 (東から) 左端が SK02

成 ⑤調査担当者 谷伸俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に開発区域内に7ヶ所の試掘トレンチを重機にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、堅穴住居跡5軒(SI01～05)および土坑・ピットを確認した。また、土坑SK01とSK02については、造構の時期・性格把握のため掘り下げたところ、SK02からは中世の土器(9)が出土した。造構確認面までの深さは70～100cm程度。 ⑦遺物 奈良・平安時代および中世の土器が出土して

いる。1は土師器の壺。赤褐～橙褐色。白雲母・白色粒、黄褐色粒・半透明粒少量含む。2は土師器の壺。外面にぶい褐色、内面黒（黑色処理）。白雲母多量、白色粒・黄褐色粒少量含む。3は須恵器の壺。灰褐色。白雲母多量、半透明粒少量、白色粒微量含む。焼成不良。4は土師質土器の皿。橙褐色。白雲母多量、白色粒、黄褐色粒少量含む。5は土師質土器の鍋。暗褐～明褐色。白色粒多量、黄褐色粒・半透明粒含む。1～5はT-2出土。6は土師質土器の鍋。橙褐色。黒雲母、白色粒・半透明粒少量、砂粒微量含む。7は土師質土器の皿。白色粒、黄褐色粒少量、白雲母微量含む。6・7はT-5出土。8は土師質土器の皿。橙褐色。白雲母・透明粒・黄褐色粒少量、砂粒微量含む。T-5のSK01出土。9は土師質土器の皿。橙褐～赤褐色。白雲母・白色粒少量、角閃石、黄褐色粒微量含む。T-6のSK02出土。

## 16 中津川遺跡

①所在地 石岡市中津川字處道地339番 ②開発面積 564m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年7月2日 ④調査原因 個人住宅建設 ⑤調査担当者 谷伸俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に9ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、縄文時代の土器や石器を多く含む土層を各トレンチにおいて確認した。同様の土層は東側の試掘調査地点（平成20年6月、小杉山・曾根2010）でも確認されていることから、遺物包含層と判断した。また、一部

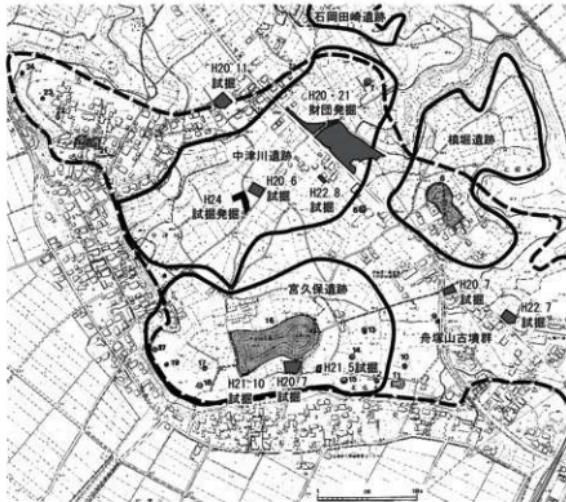


図16 中津川遺跡 調査地点位置図 (S=1/10,000)



写真8 中津川遺跡 発掘調査全景



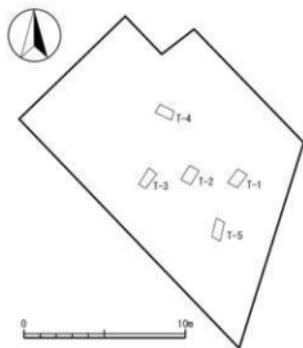
写真9 発掘調査全景

の試掘トレンチで遺物包含層の掘り下げを行ったところ、その下層において土坑を確認した。この開発に伴い、平成24年度に発掘調査を実施し、遺物包含層及びその下層から縄文時代中期の竪穴住居跡と袋状土坑を含む土坑群などを検出している。詳細は発掘調査報告書に譲る。

<引用文献> 小杉山大輔・曾根俊雄2010『市内遺跡調査報告書 第5集』石岡市教育委員会

### 17 杉ノ井遺跡（第2地点）

- ①所在地 石岡市杉の井12612番 ②開発面積 480m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年7月4日 ④調査原因 個人住宅建設 ⑤調査担当者 小杉山大輔 ⑥調査概要 開発区域内に4ヶ所の試掘トレンチを重機にて設定し、遺跡の有無を確認したが、遺構・遺物は確認されなかった。



### 18 鹿の子遺跡（第41次）

- ①所在地 石岡市鹿の子2丁目9598番2、9628番3 ②開発面積 179m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年8月6日 ④調査原因 個人住宅建設 ⑤調査担当者 谷根俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に5ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認したが、遺構・遺物は確認されなかった。

図17 鹿の子遺跡（第41次）

全体図 (S=1/300)

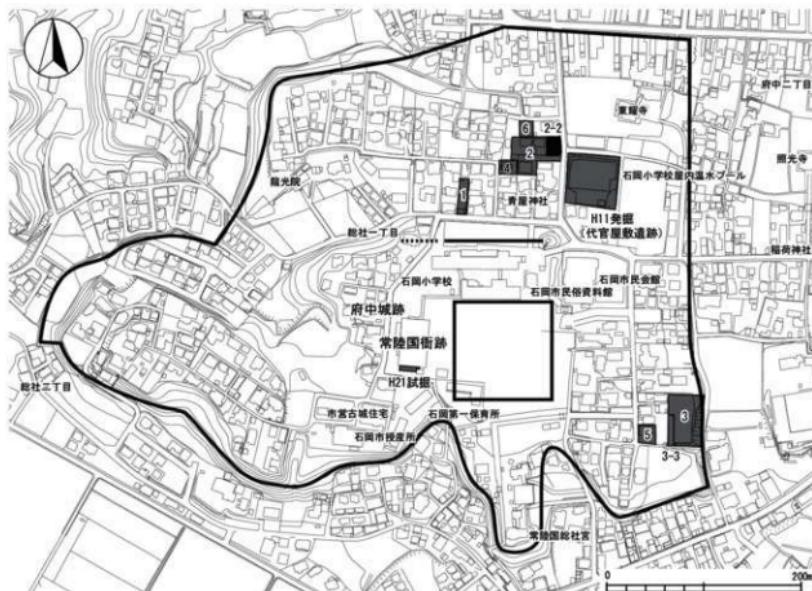


図18 府中城跡 調査地点位置図 (S=1/5,000)

## 19 府中城跡（第2地点-2）

①所在地 石岡市総社1丁目274番1 ②開発面積 284m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年8月10日 ④調査原因 個人住宅建設 ⑤調査担当者 小杉山大輔 ⑥調査概要 開発区域内に3ヶ所の試掘トレンチを重機にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、T-1・2において埋没谷が確認され、谷覆土からは縄文土器片が少量出土した。T-3は大きく搅乱されていた。

⑦遺物 1～3は埋没谷の覆土から出土した縄文土器である。1はにぶい褐色。黒雲母多量、黄褐色粒、半透明粒・白色粒少量含む。2は黒赤褐～赤褐色。白色粒、半透明粒・黄褐色粒少量含む。3は暗赤褐色。黒雲母・白色粒多量、半透明粒含む。

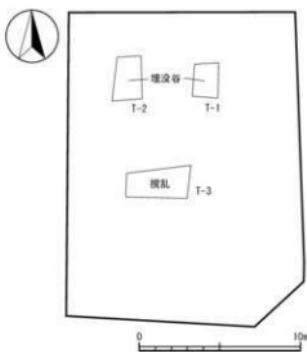


図19 府中城跡（第2地点-2）

全体図 (S=1/300)



図20 出土遺物 (S=1/3)

## 20 上曾（未周知）

①所在地 石岡市上曾870番地1先 ②開発面積 1,400m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年8月17日 ④調査原因 市道改良 ⑤調査担当者 小杉山大輔 ⑥調査概要 開発区域内に12ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認したが、遺構は確認されなかった。

## 21 六軒遺跡

①所在地 石岡市東光台3丁目4012-68 ②開発面積 785m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年8月27日 ④調査原因 集合住宅建設 ⑤調査担当者 谷伸俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に6ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、各トレンチにおいて碎石を含む造成土を確認した。一部トレンチでは造成土の掘り下げを行ったが、地山は確認できなかったことから、当地は過去の造成によって大きく改変されているものと判断した。遺物は出土していない。

## 22 東ノ辻遺跡

①所在地 石岡市石岡2373ほか ②開発面積 997m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年9月4日 ④調査原因 貸賃住宅建設 ⑤調査担当者 谷伸俊雄 ⑥調査概要 開発区域内に12ヶ所の試掘トレンチを人力にて設定し、遺跡の有無を確認したが、遺構・遺物は確認されなかった。ローム面までの深さは20～35cm程度。

## 23 大塚遺跡

①所在地 石岡市石岡字大塚3039-8ほか ②開発面積 591m<sup>2</sup> ③調査日 平成24年9月6日 ④調査原因 サービス付高齢者向け住宅建設 ⑤調査担当者 小杉山大輔 ⑥調査概要 開発区域内に4ヶ所の試掘トレンチを重機にて設定し、遺跡の有無を確認した。その結果、各トレンチにおいて碎石を含む造成土を確認したことから、当地は過去の造成によって大きく改変されているものと判断した。